



〒915-0823
 福井県越前市本町10-2
 親縁山 大寶寺
 TEL/FAX (0778) 22-1682

永代施餓鬼会法要のご案内

6月23日(土)、24日(日)

やがて梅雨に入ろうかという今日この頃、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。おかげさまで、寺では住職一同大過なく過ごしております。

さて、来る6月23、24の両日、例年のごとく永代施餓鬼会の法要を営みます。この法要は故人の霊を末永く供養し、同時に本願念仏の教え、また、そのための道場である寺が永く栄えるようにというお参りです。永代供養の支納を頂きました先祖さまの法名を読み上げるおおよその時間を別紙にてお知らせしております。なにぶん多くの法名を読み上げますので必ずしも、時間通りにはならないこともあります。お参り頂きましたら、読み上げの時間以外でも、ご本尊の向かい側にある施餓鬼棚で、お焼香を



間通りにはならないこともあります。お参り頂きましたら、読み上げの時間以外でも、ご本尊の向かい側にある施餓鬼棚で、お焼香を

してください。

なお、本年は4月15日に執り行われた晋山式とお待ち受け法要のビデオを一日目の三時半から上映します。また、昨年同様二日目の午後一時から山本源太



夫一座による伊勢大神楽の奉納の舞がございます。お神楽の舞は晴天ならば境内にて、雨天時には本堂内で行われます。ご近所の方また、子供さんなどをお誘いの上お参りいただければ幸いです。

平成十九年

永代経法要

○ 六月二十三日(土)

午前九時半〜十二時 施餓鬼

十二時 昼食

午後一時半〜三時半 施餓鬼

午後三時半〜ビデオ上映

○ 六月二十四日(日)

午前九時半〜十二時 施餓鬼

午後十二時 昼食

午前一時〜二時 神楽奉納

午後二時〜四時 施餓鬼

第38回おてつぎ信行奉仕団

5月29、30日の両日、第38回大寶寺おてつぎ信行奉仕団の一行28名が総本山知恩院を訪れました。この日、11時に到着予定の大阪三河教区の西岸寺の奉仕団が、東名高速の道路工事のために午後一時の到着になったこともあって、例年よりゆったりとした日程となりました。

二日目は雨になりましたが、10時頃には止んで嵯峨の釈迦堂としてしられる清涼寺の三国伝来のお釈迦様のご開帳をいただき、お坊さんから詳しいお話をいただきました。その後、天竜寺の塔頭である宝蔵院の雨上がりのお庭を拝見しました。修学旅行で生賑わう嵐山での昼食を楽しんだあと、築城400年祭の彦根城博物館を訪れ、掛け軸や刀剣など彦根藩井伊家に伝わる数々の展示物を鑑賞しました。

今回は大寶寺の若も参加したこともあり、和気あいあいとしたとても楽しい旅行になりました。



予定通りに9:30 a.m. 知恩院の新玄関に到着



指導員に導かれて、お念仏を唱えて行道。



知恩院大方丈から、池泉回遊式の方丈庭園を鑑賞。



月光殿に安置された極楽の様子を刻んだ観経曼陀羅。



重要文化財の大方丈にて礼拝と別時念仏。



今年のご奉仕は床掃除。大勢なのですぐに終了。



福岡の高瀬上人。すばらしいお話をありがとう。



雨の中を傘をさして大殿から和順会館に戻りました。



朝食は京都名物の朝がゆ。「...に満つ。いただきます。」



「包丁一本。」おてつぎ副部長の大阪、法善寺の神田上人。



清涼寺本堂前でお焼香。この後、三国伝来のお釈迦様とご対面。



雨上がりの特別公開の宝蔵院の庭を散策。



修学旅行生で賑わう嵐山でおみやげの購入。



歴史大好きガイドの山田さんとスリーショット。

トピックス

平和町太子堂のお祭り

5月19、20日

大寶寺のある本町の西隣の町内で聖徳太子をお祀りした太子堂で祭礼がありました。一日目の昼過ぎに大寶寺の住職が一時間ほどのお勤めをするのが恒例となっています。二日目の夜には歌謡ショーなどもあつて賑わいました。



小さなお堂ですが、中には聖徳太子のお像と、ご神体の鏡がまつられています。写真はお堂に参拝する平和町の皆さんです。

本町文殊菩薩のお祭り

5月25日

本町、奥野呉服店の向かいに祀られた文殊菩薩の祭礼で住職がお勤めをいたしました。本町では同日、竜門寺横の天満宮の祭礼もありますが、雨にたたられ少し寂しいお祭りとなりました。

茶毒蛾にご注意

今年は冬が暖かかったせいか、茶毒蛾の毛虫が大量に発生しています。茶毒蛾は幼虫ばかりでなく脱皮した殻やサナギ、成虫や卵でも刺されるのでとてもやかいかいです。葉の表と裏に張り付いて一列に並んで茶、椿、山茶花などの木の葉を食べます。大寶寺の境内にも



発生しておりますのでお墓参りなどの際はご注意ください。なお、この毛虫は秋の初めにも発生するので、早めに除去することを心がけましょう。

ご案内

浄土宗福井教区檀信徒研修会

7月1、2日

次の日程で浄土宗福井教区檀信徒会が開催されます。県内各地区の浄土宗の檀信徒の方々と交流する良い機会です。参加ご希望の方は寺までご連絡下さい。

場所 芦原温泉「グランディア芳泉」
参加費用 一七、〇〇〇円
内容 はぐるま太鼓演奏、法話、パネルシアターなど。

詳しくは寺までお問い合わせ下さい。

別時念仏会

7月12日

県浄土宗仏教青年会の主催で別時念仏会が当山にて開かれる予定です。詳しくは、次号の親縁でお知らせします。ぜひ、ご参加下さい。

浄土宗子供の集い

7月30、31日

福井教区浄土宗青年会と児童教化連盟の主催で「浄土宗子供の集い」が、当山にて開かれる予定です。仏様の教えを通じてお子様の情操を養う絶好の機会です。対象は小学校3年生から6年生、また、その保護者の方です。詳しくは、次号の親縁にてお知らせします。ぜひ、ご参加ください。

濁中蓮華

濁った世間に咲く蓮の花の意

仏教原理主義の勧め

イスラム教徒の中には自爆テロすら辞さない過激な信条を持つ人々がいる。彼らはイスラム原理主義者と呼ばれ聖典であるコーランを絶対視し、女性の就労を禁止したり、厳しい懲罰を課す。たとえばバリバーンやオサマビン・ラディンのような人々である。

一方、キリスト教原理主義者と言われる人々は聖書を絶対視し、その中の記述は神話やたとえ話ではなく、すべて事実であるという立場をとる。彼らはダーウインの進化論を否定し神による創造を公教育で教えるべきだとする。ブッシュ大統領もその一人で、彼の「悪の枢軸」発言には、世の中のできごとを善と悪の二つに分類して理解しようというキリスト教原理主義者の考え方が反映されている。

力づくでテロリストを押さえ込もうとするアメリカの試みは、かえってアフガニスタンやイラクでの混乱の度合いを強めているように思われるが、この背景にはイスラム教原理主義とキリスト教原理主義の対立がある。

本年5月ウイーンにて、人類が直面する諸問題の解決へ向けた提言をとりまとめようと、現役を引退した大統領など約30カ国の政治家を招いてOBサミットが開かれた。

今年の主題は「宗教指導者との対話」で、日本からは本願寺派の大谷門主が招かれた。このようなテーマが選ばれた理由は、おそらくイスラム原理主義とキリスト教原理主義の対立によりあぶりだされた「宗教の危険性」に世界の世論が注目しているからに他ならない。以下は5月25日付け朝日新聞の記事の引用である。

「寛容を説く宗教から、非寛容な原理主義者が急増しているのはなぜか」とか、「宗教指導者は、もつと宗派内の統制に力を尽くすべきだ」などと、元政治指導者からの厳しい意見が相次いだ。それに対し、イスラム教スンニ派の指導者は「一部に富が集中し、多くは社会の隅で暮らす。原理主義の台頭は、そうした社会の不均衡も原因だ」との、反論がなされた。

大谷門主は、仏教の「非暴力」思想を強調し、仏教の原理主義者がいたら、武力紛争をまねくことはあり得ないと、名指しは避けながらもイスラム原理主義への憂慮の念を示した。

二〇〇一年九月二十五日、同時多発テロの直後、浄土宗は「テロに対する声明」を発表している。そのなかで、水谷幸幸前浄土宗宗務総長は次のように述べている。

米国はテロリストたちの正体を追及し、報復を行なうと公言していますが、暴力は暴力を生み、相互の報復合戦となって尽きることがありません。報復は新たな悲しみ、憎しみを生み出すのみであります。

釈尊は「実にこの世においては、怒みに報いるに怒みを以ってしたならば、ついに怒みの息むことがない。怒みをすててこそ息む。これは永遠の真理である」(法句経5)と説かれていますが・・・私たち浄土宗僧侶は、暴力のない、人間同士が信じ合い、愛し合い、助け合う世界が一日も早く来るように望んでやみません。

仏教原理主義、すなわち釈尊の教えに忠実であることこそ世界を平和に導く道ではなからうか。